# AI的画像解析による オペランド電子顕微鏡計測技術に関する研究 Development of *Operando* Electron Microscopy Techniques Using AI Image Analysis





## 1. ファインセラミックスセンター(JFCC)の簡単な紹介

2. 安全保障技術研究推進制度での本プロジェクトの研究概要

3. これまでの研究成果の紹介

4. 今後の方針と将来の活用

#### 1-1. ファインセラミックスセンターの所在地



1-2. ファインセラミックスセンターの設立経緯・体制図



4

### 本日の発表内容

### 1. ファインセラミックスセンター (JFCC) の簡単な紹介

2. 安全保障技術研究推進制度での本プロジェクトの研究概要

3. これまでの研究成果の紹介

4. 今後の方針と将来の活用の

## 2-1. 本研究を行うべき社会, 産業上の背景 Introduction







オペランド電子顕微鏡動的計測技術 Dynamic measurement techniques using *operando* electron microscopy

材料 / デバイスを動作させた状態で計測 Measurement of materials and/or devices in operation 2-2. 現在の電子顕微鏡とファインセラミックスセンターの研究成果

Current electron microscopy and research achievement of Japan Fine Ceramics Center

(1)市販の電子顕微鏡 Commercially available electron microscopies.

@原子配列を直視. Direct observation of atoms.

@元素組成や電子状態の分析. Analysis of chemical composition and electronic state.

@テレビレート(30 fps)程度の動画撮影. Dynamic observation at TV rate.

(2)ファインセラミックスセンターの最近の研究成果



#### 2-3. 全固体Liイオン電池の課題 Issues of all-solid-state Li-ion batteries



高いLi移動抵抗

High resistance of ion diffusion



【全固体電池のメリット Advantage of all-solid-state batteries】

・ 難燃性の固体電解質 ⇒ 安全性が高い

Nonflammable solid electrolyte  $\Rightarrow$  High safety

• 高容量⇒長い航続距離

High energy density  $\Rightarrow$  Long cruising distance of EVs

高いLi移動抵抗 High resistance of ion diffusion

## 2-4. イオン移動の抵抗要因と移動速度 Origin of charge-transfer resistance and transfer kinetics



## 2-5. 高速電子顕微鏡観察の原理的課題と本研究の目的

Principle problem of high-speed electron microscopy observation and purpose of this research



目的:情報科学的手法を用いて, 電子顕微鏡計測の限界を超える! Purpose:To exceed the limit of measurement using information science

AI的高度画像解析技術 Image analysis techniques using AI

高速オペランド電子顕微鏡計測 High-speed operando measurement by electron microscopy 10

<mark>2-6.本研究で活用している画像解析技術</mark> Image analysis techniques utilized in this research



## (1) スパースコーディング sparse coding

Target Image (Noisy)



**Denoised Image** 



## 本日の発表内容

### 1. ファインセラミックスセンター (JFCC) の簡単な紹介

2. 安全保障技術研究推進制度での本プロジェクトの研究概要

3. これまでの研究成果の紹介

4. 今後の方針と将来の活用

## 3-1. これまでの研究成果(1)

## 透過電子顕微鏡を用いた高速動画観察

High-speed dynamic observation using transmission electron microscope (TEM)



# 透過電子顕微鏡を用いた高速動画観察

High-speed dynamic observation using transmission electron microscope (TEM)

試料: Au/SrTiO<sub>3</sub>, 画像: 500枚, 3858 fps, 画像処理: 3Dテンソル分解法 Specimen:Au/SrTiO<sub>3</sub>, Images: 500, 3858 fps, Image analysis: 3D tensor decomposition



### 3-2. これまでの研究成果(2)

走査透過電子顕微鏡法とエネルギー分散型X線分光法を用いた元素分析 Elemental analysis using Scanning Transmission Electron Microscopy (STEM) and Energy Dispersive X-ray Spectroscopy (EDS)



#### 走査透過電子顕微鏡法とエネルギー分散型X線分光法を用いた元素分析 Elemental analysis using Scanning Transmission Electron Microscopy (STEM) and Energy Dispersive X-ray Spectroscopy (EDS)



## 本日の発表内容

1. ファインセラミックスセンター (JFCC) の簡単な紹介

2. 安全保障技術研究推進制度での本プロジェクトの研究概要

3. これまでの研究成果の紹介

4. 今後の方針と将来の活用

## 4-1. 今後の方針と将来の活用(1)

## すでに完成したシステム



## 【現在開発中のシステム】

## 超高速オペランド計測のための情報科学原子分解能透過電子顕微鏡システム

Atomic Resolution Transmission Electron Microscopy with Information Science (ARTEMIS) for High-Speed Dynamic *Operando* Observation



4-2. 今後の方針と将来の活用(2)



## 4-3. 今後の方針と将来の活用(3)



大腸菌 Escherichia coli

## 生体材料の直接観察 Direct observation of biomaterials

#### 最終目標

生体活性を持った生体試料のライブ観察を目指す utions

(1)真空に入れる水分が蒸発してしまう.Dried in Vacuum.

- ・ナノスーツ溶液 NanoSuit solution
- ・イオン液体 Ionic liquid
- ・ガス中または液中観察用TEM試料ホルダー

TEM specimen holder for observation in gas or liquid

(2)電子線(強烈な放射線)で破壊される. Damaged by electron beam irradiation.

低電子線照射撮影と機械学習を用いた画像解析
Low dose recording and image analysis using machine learning

## 本日の発表内容

1. ファインセラミックスセンター (JFCC) の簡単な紹介

2. 安全保障技術研究推進制度での本プロジェクトの研究概要

3. これまでの研究成果の紹介

4. 今後の方針と将来の活用

## 5. 安全保障技術研究推進制度で採択されて良かった点の紹介

- 1. 民生技術の基礎研究である.
- 2. 十分な予算を獲得できる. (タイプS:5年間で最大20億円)
- 3. 研究成果を発表できる. (論文投稿, 学会発表など)

「令和2年度 安全保障技術研究推進制度公 募要領 1.1制度の趣旨」より

本制度では防衛装備庁が自ら行う防衛装備 品そのものの研究開発ではなく,先進的な民 生技術についての基礎研究を対象としている ことから,研究成果については広く民生分野 で活用されることを期待しています.そのた め,防衛装備庁が研究者の研究成果の公表を 制限することはなく,その研究成果について, 将来にわたって特定秘密を始めとする秘密に 指定することもありません.



1. 金ナノ粒子の原子配列の直接観察:3Dテンソル分解法,3858fps.

Observation of atomic arrangement of gold nano particle:3D Tensor decomposition, 3858fps.

2. 元素分析:時間分解能を1/10~1/100に短縮.

Elemental analysis: temporal resolution  $1/10 \sim 1/100$ .

## 今後の方針

1. 電子顕微鏡と高速コンピュータを結合. オンライン超高速動画解析システムを構築.

On-line high-speed dynamic observation system, by combining TEM and computer.

2. 電池・触媒・半導体などの応用計測.

Application to batteries, catalysts, semiconductors.

生体試料の水分蒸発を防ぐ.
Prevent evaporation of water.
低電子線量撮影と画像解析で画質の飛躍的改善.
Denoising of low electron dose images.
生体活性を持った状態での生体材料ライブ観察を目指す Observation of biologically active specimens.









# The End